



あさひ台

学 校 報
第 488 号
R3. 10. 29
五城目小学校

学校教育目標

夢高く 心たくましく 学び合う五小の子
～ つなぐ ひらく つくる ～



「五太郎」

勇気を出して挑戦しよう!!

校長 小玉 史男

朝夕の気温はいつの間にか一桁となり、学校から見えるドウダンの葉も赤みを増してきました。白鳥やガンの群れも飛来し、冬の季節がすぐそこまで来ていることを知らせてくれます。

さて、10月14日(木)には2学期始業式を行いました。1学期を振り返り、新たな課題に向かって全員で取り組んでいくことを確認し合うための式です。次のような話をしました。

ひとつめのお話です。

五城目小学校は新校舎が完成してから間もなく1年になります。今年の4月にはこの新校舎から小学校生活をスタートさせる元気な1年生も入学しました。今年の夏も去年と同じように暑かったのにもかかわらず、快適な校舎で学習に集中することができました。素敵な学校が完成し、安心して学習できるようになり、たくさんの地域の方々が応援してくれているのに、皆さんは何もしなくていいのでしょうか。五城目小学校は、五城目町や地域の方々のために、学習したことを地域の方々に発信し、見てもらう、喜んでもらうなど何かをしないとイケないと思っています。「こんないい学校を作ってくれてありがとう」「私たちは、暑い日も寒い日も、快適な学校で勉強をがんばっています」「私たちもいっぱい勉強します」「僕たちが勉強したことを見てください」「五城目町のことももっと知りたいと思います」「五城目町のためにこんなことを勉強しました」「だから私たちのことをもっと応援してください」「大好きになってください」そんな気持ちで学習してほしいと願っています。新たな校舎とともに、新たな歴史を作っていくチャンスです。学習発表会もあります。感謝を伝える大切な機会です。ここにいる全員で、心をひとつにして、勇気を出して挑戦していきましょう。



ふたつめのお話です

ひとつめのお話にもありましたが「地域の方々に愛される五小っ子、五城目小学校」であってほしいと願っています。それなのに、学校の前にある横断歩道を渡るときには、全員が知らんぷりです。何が知らんぷりなのか。みんなが横断歩道を渡ろうとしたときは、車はずいぶん前から止まって待っていてくれます。だらだら、だらだら、ゆっくり渡る人もいます。安全指導ボランティアの方にあいさつをしない人もいます。誰にでも元気なあいさつをして、みんなに愛される五小っ子になってください。横断歩道を渡るときは、車が止まってくれていることを確認して素早く渡ってください。

そして大事なこと。止まってくれた車の運転手さんに、「ぺこり」、渡り終わったら振り返っておじぎをしましょう。長い時間待たせていて、だらだら渡り、笑顔もあいさつもなければ、誰もが「迷惑だ」「応援なんかしたくない」と思うでしょう。「ぺこり」でいいんです。できる人は、笑顔をプラスしちゃいましょう。「ぺこり+スマイル」で「ペコスマ」はどうですか。初めての「ペコスマ」は勇気があると思いますが、「いい子どもたちだな」「いい小学校だな」と思ってもらえるよう勇気を出して挑戦してみましょう。恥ずかしい人もいるかもしれませんが、みんなで力を合わせて、わくわくしながら乗り越えていきましょう。(お話を終わります。)

秋田県の警戒レベルが2となり、少しずつ当たり前だった日常が見えてきたような気がします。もちろん、これまで以上に基本的な感染対策は必要となりますが、学習発表会だけでなく、公共施設等での作品展示や調べてまとめたことを発表してみるなど、子どもたちの学びや活躍の場面に触れていただく機会も作れればと考えています。その際はよろしく願います。

最後に、「ぺこり」ができた子どもには、最高の笑顔を贈って応援していただければ幸いです。